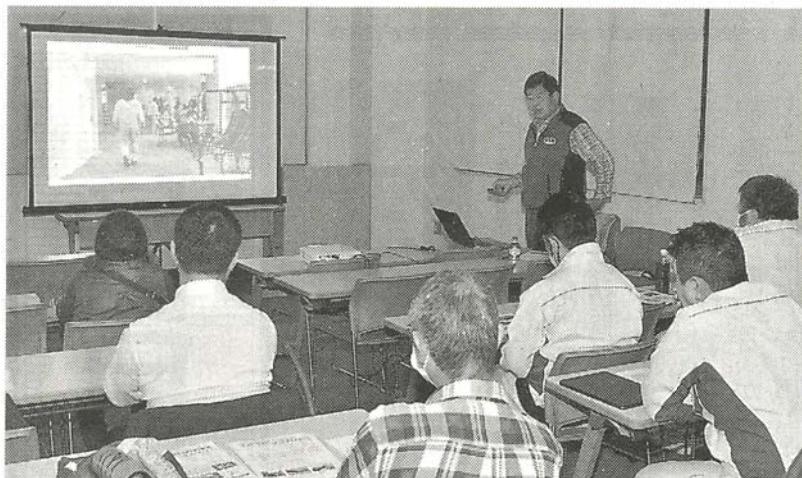


伊豆日新報

令和6年(2024年)2月27日(火曜日)



被災地の現状を語る渡辺専務＝三島市の三島商工会議所

能登地震

「災害対応マップ」必要

子ども元気に
被災地の現状報告
(GW) 三島は、同P
JでGW三島

能登平島地震の被災

聞いた。

報告と今後への取り組み支援活動の在り方「高齢者・子どもの心のケア・必要とされる福祉対策」などをテーマに語った。

（GW）三島は、同プロジェクトの一環で被災地を訪問した。このほど、三島商工会議所で現場調査報告会を開いた。オンラインを含め、市民ら25人が参加。

同NPOメンバー4人

渡辺豊博専務は写真を使いながら被災地の様子を解説した。いま

元気な富士山プロジェクト(PJ)に取り組む三島市のNPO法人グラウンドワークが1泊2日で能登町、珠洲市などを訪れ、現地を見て被災状況を確認し、町長や教育長、地元経済界のリーダーらと面会して同プロジェクトの趣旨を説明した。

3人「このが通行不可なら迂回路はこっちというふうに語った。『災害対応マップ』を事前に作成する必要がある」と語った。

報告会ではメンバー3人